

長野の林業

No.
403
2026.1.10

特集

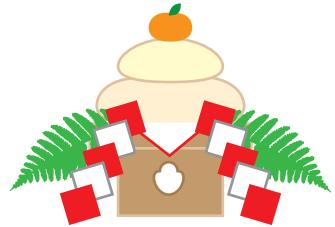
新年のごあいさつ
林業総合センターの取組

地域の話題

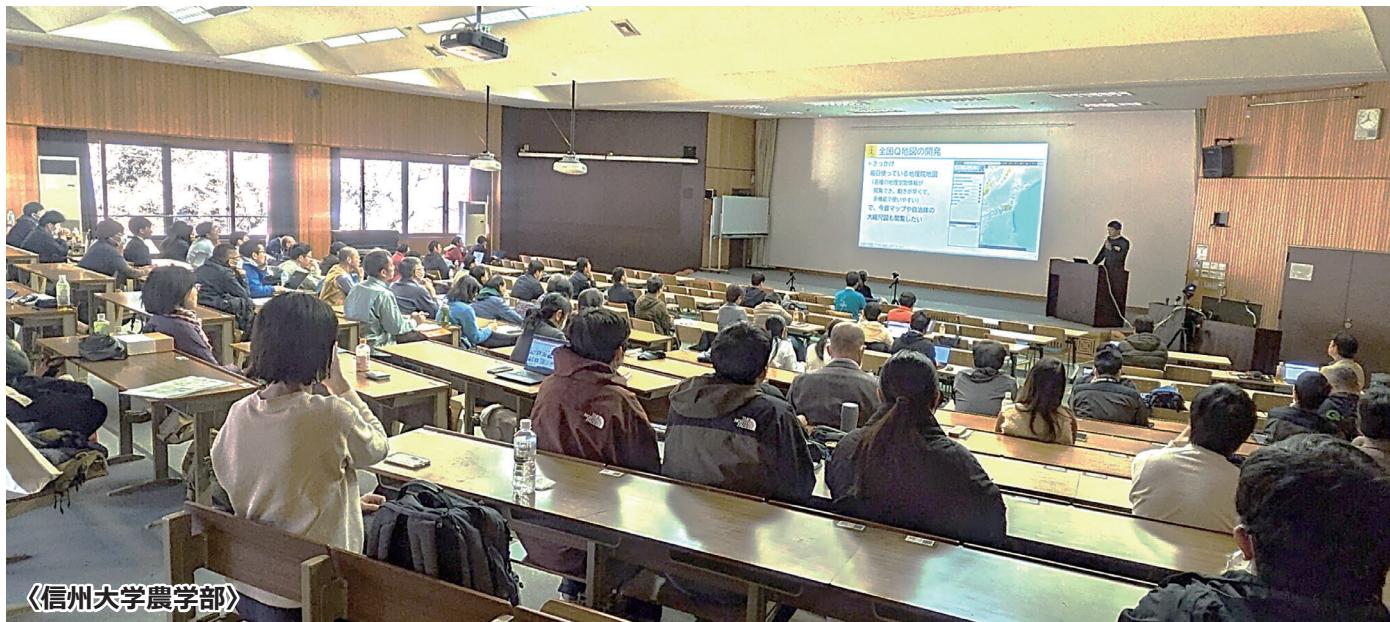
- ・北アルプス地域
- ・長野・上田地域

県森連だより

- ・2026年長野県内木材市売日程



謹賀新年



「FOSS4G SHINSHU 2025」

自由でオープンソースな地理情報ソフトウェアの祭典(全国大会)を伊那谷で開催

〈主催〉

FOSS4G SHINSHU 実行委員会

〈共催〉

一般社団法人 OSGeo 日本支部、信州大学農学部、
木曽谷・伊那谷フォレストバレー運営協議会



《inadani sees》

令和7年11月29日～30日 信州大学農学部(南箕輪村)、inadani sees(伊那市)を会場に、自由でオープンソースな地理情報ソフトウェアの祭典「FOSS4G SHINSHU 2025」が木曽谷・伊那谷フォレストバレー運営協議会他関係機関の共催・協力により開催されました

全国から100人を超える産学官の参加者が集い、農林業分野におけるFOSS4Gの活用について最新の事例紹介や活発な意見交換が行われました。(関連記事:P10を参照)



長野の林業
フルカラー版



中部森林管理局長

佐伯 知広



国民の森林・国有林

国有林が地域とともにあり、 木の文化にも貢献します

◇新年のごあいさつ

新年明けましておめでとうございます。

日頃より国有林野の管理経営に特段の御支援と御協力を賜り、心より御礼申し上げます。

昨年10月1日付で中部森林管理局長に就任いたしました。長野県内の勤務は今回で3度目となり、この地とのご縁を嬉しく感じところでです。どうぞよろしくお願ひいたします。

◇新年の抱負

国有林においては、急峻で複雑な地形を有する森林も多いことから、山地災害の防止、国土強靭化のための森林整備や治山対策を一層推進します。また、多くの人工林が利用期を迎えており、資源の循環利用を進めることとしています。

また、地球温暖化防止や花粉症発生対策などの県民の要請に応えた多様で健全な森林づくりを進めるほか、社会問題化しているクマ被害の対策については「クマ被害対策パッケージ」等に基づき豊凶調査や生育環境の保全・整備などに取り組みます。

◇関係者へのメッセージ

長野県の豊富な森林資源の循環利用と、地域ごとに特色ある自然の活用には、地域振興の観点からも大きな期待が寄せられています。昨年は、20年に一度の伊勢神宮式年遷宮関連行事が始まり、6月には御用材を伐り出す「御神始祭」が木曽森林管理署管内の国有林で執り行われました。「三つ紐伐り」という伝統的な手法による伐採が用いられ、技術の継承や文化財等への木材供給など「木の文化」を支える一翼を担わせていました。今後も県内各地域の関係者の皆様とともに幅広く連携しながら貢献してまいりたいと考えております。結びに、本年が皆様にとって幸多き一年となりますよう心より祈念申し上げます。

◇新年のごあいさつ

新年明けましておめでとうございます。

平素より本県の森林・林業行政の推進に格別のご支援、ご協力を賜り、心より感謝申し上げます。

昨年は、ツキノワグマの出没が東北地方を中心に相次ぎ、本県でも多くの人身被害が発生しました。被害に遭われた方々にお見舞い申し上げるとともに、対策に取組む皆様に深甚なる敬意を表します。県では昨年11月に対策本部を設置し、全庁挙げて迅速・的確な体制整備と現場対応力の強化を進めています。今後も市町村・関係団体と連携し、人身被害の未然防止に全力で取組みます。皆様におかれましても、森林に立ち入る際はクマへの注意と対策の徹底をお願いいたします。

◇新年の抱負

本県の民有林人工林の約8割が50年生を超えており、森林は「育てる」時代から「利用する」時代へと移行しています。将来にわたり持続的に木材を生産・利用できる基盤づくりは喫緊の課題です。

そのため、若い森林への更新を進める再造林の加速化、間伐等による

安心・安全な里山づくり、森や緑、木のぬくもりに親しめる環境づくり、そして多様な人材の確保・育成など、各種取組を着実に進めてまいります。

◇関係者へのメッセージ

併せて、需要拡大と流通の高度化、森林整備の質の向上にも注力します。県産材を暮らしに活かし、確かな供給と地域の活力につなげてまいります。

◇関係者へのメッセージ

県民の皆様、森林・林業・木材産業関係者、市町村等の皆様と力を合わせ、森林づくりと林業・木材産業の一層の発展に努め、私たちの貴重な財産である森林を健全な姿で次世代に引き継ぐべく、全力で取り組んでまいります。

本年が皆様にとって幸多き一年となりますことを心より祈念し、新年のご挨拶いたします。



長野県林務部長

根橋 幸夫



森林を健全な姿で 次世代に引き継ぐために



新年のごあいさつ



長野県森林組合連合会
代表理事長
藤原 忠彦



豊かな森林を未来に引き継ぐ森林・林業の再生

◇新年のごあいさつ

新年あけましておめでとうございます。

皆様方には、日頃から長野県森林組合連合会及び県下18森林組合の活動にご支援とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

昨年は、全国各地で大規模な林野火災や集中豪雨による山地崩壊等が発生し、安心・安全な暮らしを実現するため、災害に強い健全な森林づくりによる国土の強靭化を一層推進する重要性を強く認識する一年となりました。

◇新年の抱負

林業・木材産業を取り巻く状況は、少子高齢化による人口減少が加速する中、新設住宅着工戸数の減少や慢性的な人材不足、世界情勢の不安定化によるエネルギーコストや資材価格等の上昇など、引き続き大変厳しい状況が続いております。しかしながら、昨年3月に制定された「信州の豊かな森林と環境を守る県産材利用促進条例」や5月に県と建築設計や林業・木材産業関係5団体で締結した「長野県産木材の利用促進に関する協定書」に基づいて、住宅分野での更なる利用促進に加えて、県が整備する県立学校・警察署等の公共建築物の木造化・木質化の推進や公共土木施設での木材利用を推進する工法や技術の活用などによる県産材の需要拡大を進める好機であります。

県森連として、川上から川下までのサプライチェーンの構築による県産材の一層の利用促進と、山元への還元が図られますよう努めてまいります。また、引き続き研修会や指導監査を通じて森林組合の経営力強化を支援するほか、主伐・再造林の推進に必要な人件費・資材費上昇を踏まえた森林整備予算の十分な確保に向けた要望活動や森林・林業の魅力を高める情報発信などの取組みを進めてまいります。

◇関係者へのメッセージ

豊かな森林を未来へ引き継ぐため、適切な管理の推進、人材の確保・育成等の諸課題解決に向け森林組合系統一丸となつて尽力してまいりますので、引き続きのご支援とご協力をお願い申し上げます。となりますが、本年が皆様方にとつて災害の無い、実り多き素晴らしい一年となりますよう祈念申し上げ、新年のご挨拶といたします。

◇新年のごあいさつ

令和八年の新春を迎え、謹んでお慶びを申し上げます。

関係者の皆様方におかれましては、当連合会の活動に対しまして、格別なる御支援と御協力を賜り厚くお礼を申し上げます。

今年の干支は、「丙午(ひのえうま)」、エネルギーと行動力が高まる年とされ、積極的な挑戦や機敏な決断が成功を引き寄せると言われています。干支にあやかって、運気も駆け上がる良年となるよう懇願いたします。

◇新年の抱負

昨年4月には「木材の合法性の確からしさ」を担保することを内容とした改正クリーリングウッド法が施行されました。また、11月ブラジルで開催されたCOP30では、持続性が担保された森林からの調達等サプライチェーン全体で合法的・持続的に木材の責任ある調達を保証することを原則とした「責任ある木造建築の原則」が国際指針として承認され、国際社会の中では、森林認証材の利用がスタンダードとなつてきています。

私たちも、取引先から「求められる」「求められない」に関わらず、「合法木材であること」と、「森林認証材であること」を表示して取引を行つていく必要性を感じております。住宅市場の規模は縮小傾向にあり、木材産業にとって厳しい状況は継続していますが、市場のニーズに応えるため会員の連携の下、県産材製品の品質向上や効率的な生産体制の整備と併せ、製品開発や販路拡大に取り組むとともに、需要に応じた供給が的確に行えるサプライチェーンの構築に努めてまいります。

◇関係者へのメッセージ

昨年開催されました「大阪・関西万博」訪れ、大屋根リングや木材を使用したパビリオンの数々を目にして、想像を超える完成度と革新性に未来社会の姿を垣間見ました。鉄とコンクリートで造られた「太陽の塔」から木造の「大屋根リング」に変わり、木材利用の将来性を実感し、改めて林業・木材産業はなくてはならない産業であることを認識した次第です。その期待に応えるためにも、木材が当たり前に使われる社会の実現に向けて、それに応えるためにも、木材が当たり前に使われる社会の実現に結びに、長野県の林業・木材産業の発展と皆様方の御健勝と御多幸を心より御祈念申し上げ、新年の御挨拶とさせていただきます。



長野県木材協同組合連合会
理事長
宮崎 正毅



△川上・川中の連携による 合法木材の供給に向けて

県内4つの試験研究機関による 合同フォーラムが開催されました

■ 初の合同フォーラム開催

林業総合センターを含む県内4つの公設試験研究機関（環境保全研究所、工業技術総合センター、農業関係試験場、林業総合センター）の活動を広く知つてもらうために、初の合同フォーラム「ながラボフォーラム」が令和7年12月12日（金）に県庁講堂で行われました。

当日は、100名の県関係者等が来場し、試験研究技術への理解を深めるため、気候変動への対応やAI技術の活用、開発に関する研究事例発表会やパネル、成果物の展示が行われ、研究成果を研究員から直接分かりやすく紹介されました。



関副知事あいさつ

6つの研究事例発表が行われました
(下段カッコ書きは連携機関)

AI技術の活用、開発		気候変動への対応	
AI時系列予測を用いた信州ワイン用ぶどうの生育ステージ及び糖度予測	水稲「信交酒555号（やまみずき）」及び「信交酒557号（夢見錦）」の育成及び試験醸造の結果について	気候変動を見据えた松くい虫被害への対応	気候変動対応への取組 気候変動の予測、気候変動による影響調査
AI技術を活用した乳牛の体型測定システム	マツタケの持続的生産を目指して 発生技術の検証等とAI解析の活用	林業総合センター	環境保全研究所 (農業試験場) (工業技術総合センター)
畜産試験場 (工業技術総合センター)	畜産試験場 (工業技術総合センター)	畜産試験場	畜産試験場、工業技術総合センター

試験研究機関同士の連携による研究事例発表も行われ、熱心な質疑応答が行われ、来場者からは「研究員の地道な積み重ねが大事だと感じた」などのご意見もいただきました。

■ 林業総合センターの研究発表(育林部)

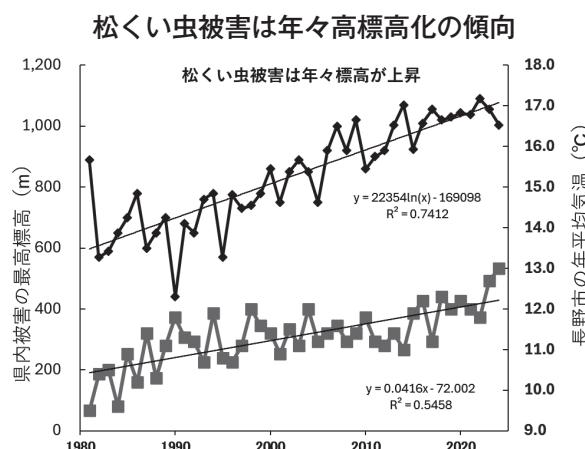
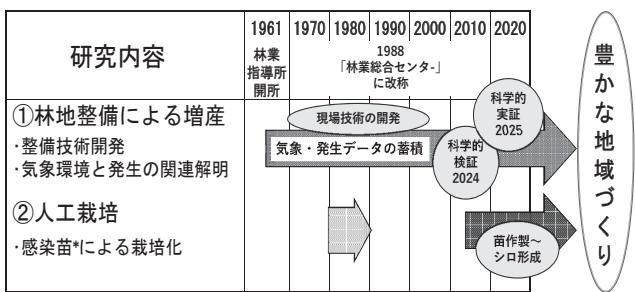
育林部の柳澤主任研究員からは「気候変動を見据えた松くい虫被害への対応」として、気温上昇により県内の松くい虫被害の標高も上昇傾向にある中、松本地域で被害拡大リスク評価を科学的に行い、標高800m付近は激害化しやすいが、標高1100m以上では被害の拡大速度が遅いことを発見。

今後、当地のアカマツを未来に残すためには、標高1000m付近を徹底防除すべきとの提案がありました。



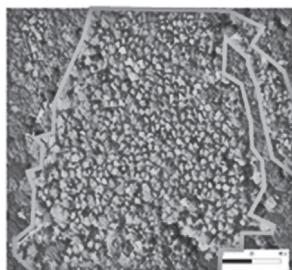
特産部の古川部長は「マツタケの持続的生産を目指して、発生技術の検証等とAI解析の活用」として、近年では長野県のマツタケ生産量はほぼ日本一であるが、日本全体ではマツタケ生産量が大幅に減少しており、長野県も同様に生産量減少の危機に直面していること。そのような中で、当センターが半世紀以上取り組んできたマツタケの持続的な増産技術の開発と現在取り組んでいる人為的な大型シロの作製などの成果、野外においてマツタケ発生を目指した実証成果について報告しました。

林業総合センターのマツタケ研究と成果



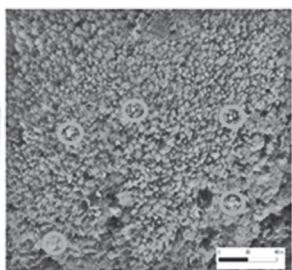
初被害から3年後の森林状況

標高 800 m



面的な被害
被害速度が速くリスクが高い

標高 1,100 m



単木的な被害
被害速度が遅くリスクが低い

また半世紀以上の継続観測の結果、蓄積できたマツタケと気象条件のデータにより、工業技術総合センターのAIを活用した解析を目指していることについても報告が行われました。

パネルや成果物の展示スペースでは、事例発表に関するパネルの他、精油（アロマオイル）と木材（圧密集成材）に関する試験・研究成果等の展示を行い、県議会議員も来訪される中、アロマオイルの研究成果や、木材に関する試験内容などについて説明を求められました。

パネル展示(林業総合センター)



実験室で作製したマツタケの大型シロすでに、野外実証中

ながラボ(試験研究機関連携会議)

県内の試験研究機関では、互いの強みを活かしながらノベーションの創出や社会課題の解決を通じて、県全体の発展に貢献することを目的に、連携した取組みや会議（通称「ながラボ」）を進めています。

今後とも、林業総合センターをはじめとする各試験研究機関の取組みにご注目いただければ幸いです。



ながラボ ロゴ



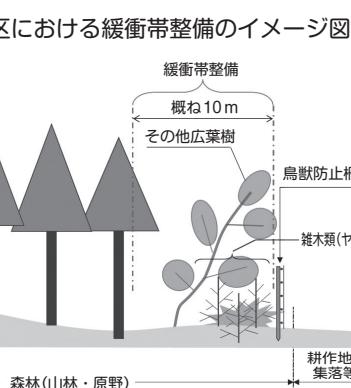
北アルプス地域

松川村「ツキノワグマ被害対策（緩衝帯整備）」の取組

令和6年9月5日の午前6時40分頃、松川村役場から1kmほど離れた住宅地内で、ツキノワグマによる人身被害が発生しました。長野県クマ対策員によると、加害の原因是、クマが松川村を横断する乳川を通って住宅地内に迷い込み、戻る方向が分からなくなり、隠れながら移動している途中で被害者と鉢合わせして、パニック状態となり危害を加えてしまったのではないかとのことでした。

小学生などの通学時間帯、また、農作業の活動時間帯など村民の活動時間と重なり、更なる人身被害の発生が危惧されたことから、被害現場近くに現地対策本部を設置し、加害個体の搜索及び注意喚起のためのパトロールを行い、12時15分頃に発見し、緊急捕獲（松川村長許可）を実施しました。

再発防止に向け、乳川からの侵入多発箇所にセンサーカメラを設置し監視するとともに、村西部の山麓沿い約14kmに渡り整備されている「野生鳥獣侵入防止柵」の山側



【北アルプス地域振興局林務課】

森林づくり県民税活用事業「市町村森林整備支援事業」（緩衝帯整備）
すみ分けを明確にする「ゾーニング」に取り組んでいます。

架線集材全国サミット

2月5日、9:00～
最新の林業機械等展示や
製品説明ブースを開催

日 時 令和8年 2月5日(木) 13:10～16:30
2月6日(金) 10:00～11:30

方 式 会場※とオンラインの併用開催
※会場：木曽文化公園文化ホール
(長野県木曽郡木曽町日義4898-37)

目的 木曽谷や伊那谷では急峻な地形により古くから架線集材技術が発展してきました。現在は油圧式集材機やタワーヤードなど最新技術を導入し、安全で効率的な集材作業が進められています。こうした地域の強みを全国に発信し、技術の継承とさらなる向上を目指して、全国初となる「架線集材全国サミット～空にカケル道が林業の未来を創る～」を開催します。

in 木曽谷・伊那谷フォレストバレー
～空にカケル道が林業の未来を創る～

参集範囲 全国の森林・林業関係者等

定 員 2/5 会場200名、オンライン200名

参加料 無料（どなたでも参加いただけます）

木曽谷や伊那谷では、高知大学・鈴木教授による基調講演「（仮題）作業システムにおける架線集材の可能性」に加え、県内外の先進事例報告やパネルディスカッションを実施。さらに、最新の林業機械展示や製品説明ブースも設置し、現場で役立つ最新情報を直接入手できます。オンライン参加も可能で、遠方からでも講演や事例報告をリアルタイムで視聴できます。ぜひ左記により事前申込のうえ、ご参加ください！

なお、2/6の架線集材現場視察については、定員に達したため、参加受付を終了しています。

**【木曽谷・伊那谷フォレストバレー】
架線集材全国サミット～空にカケル道が林業の未来を創る～を開催します（令和7年度森林フォーラム）**

詳細は「チラフ」
（長野県プレスリリース）

参加申込は「チラフ」



【信州の木活用課】

1月26日(月)17時までに
お申し込みください。



上田
長野・地

新田副知事から鰹節組合の大石代表理事組合長へ木製感謝状を贈呈



カツオの解体(東御市立北御牧小学校)
薪生産者の武田さんも参加



七二会森林クラブと
鰹節組合のみなさま



削り体验(長野市立七二会小学校)

静岡県焼津市の「焼津鰹節水産加工業協同組合」（以下、鰹節組合）から林業従事者の就労環境改善に役立て欲しいと、4年連続で企業版ふるさと納税の寄付を頂いたことから、10月27日に県庁で、新田副知事より鰹節組合の大石代表理事組合長へ感謝の意を表して木製感謝状を贈呈しました。

かつお節の生産工程には、出来上がりの香りを決める、燻して乾燥させる「焙乾」があり、使われる薪のうち7割が堅くて火持ちの良い県産のコナラの薪です。大石代表理事組合長からは、焼津のかつお節があるのは長野県の森と薪生産者のおかげであり、薪の生産を続けて貢えるよう今後も林業事業者への支援を続けていきたいと、お話を頂きました。

また、鰹節組合は地元で教育教室を実施されており、来県に合せて本県でも実施を希望されました。そこで、鰹節組合に薪を出荷している生産者の地元の長野市立七二会小学校と東御市立北御牧小学校に薪生産者も招待して教育教室を実施しました。教育教室では、カツオからかつお節ができるまでを学び、かつお節の試食と出汁の飲み比べも行い、子供も大人も引き込まれる楽しい内容であつという間のひと時でした。

【信州の木活用課】

七二会小学校では5月に地域の広葉樹を使つたキノコ駒打ち体験を実施し、地域の森林整備の取組みを学習しました。今回は地元から出荷された薪が活用されて、かつお節が出来上がるまでを学習していただきました。

はじめに、静岡県から来県された鰹節組合のみなさんに生産方法を説明いただき、実際に生のカツオの解体を見学しました。その後の生産工程や薪の活用方法を説明いただき、長野の薪はとても良いものでかつお節作りには大変重要な話もありました。次にかつお節を実際に削る体験や、出汁を取り昆布出汁との比較など様々な体験をしました。

参加した児童は5、6年生の7名と少人数でしたが、初めての体験が多く、削りたてのかつお節の旨味に驚いた様子でした。地域の森林整備と海とのつながりを学べた貴重な経験になつたのではないしょうか。

【長野地域振興局林務課】

かつお節がつなぐ海から森への感謝 焼津鰹節水産加工業協同組合からの林業従事者への寄付と教育教室



災害に備える森林保険

冬期の積雪による幹折れや雨氷害、春先の森林火災が心配…



火災

風害

水害

雪害

凍害

噴火災

潮害

干害

「森林保険」に加入しておけば安心です

[長野県 1ha当たりの代表例] 樹種毎の標準的な保険金額と保険料 (保険期間: 令和6年4月1日~)

契約時 林 齢	カラマツ			ヒノキ		
	保険金額 被災時の 受取額	1年分	5年分 一括払	保険金額 被災時の 受取額	1年分	5年分 一括払
1 年	80 万円	3,168 円	18,729 円	101 万円	3,999 円	25,324 円
2	92	3,532		119	4,569	
3	108	4,147	(割引額 1,717円)	144	5,529	(割引額 2,366円)
4	119	4,569		166	6,374	
5	131	5,030		188	7,219	
26	177	5,540	24,939	299	9,358	42,129
27	177	5,380		299	9,089	
28	177	5,380	(割引額 2,121円)	299	9,089	(割引額 3,585円)
29	177	5,380		299	9,089	
30	177	5,380		299	9,089	

保険料の一例です。保険加入は20年生、50年生など、いつでも可能です。

保険加入契約は、1年毎よりも長期割引のある5年分・10年分など一括契約がお得です。

【問い合わせ先:長野県森林組合連合会(TEL 026-226-2504)、またはお近くの各森林組合へ】

<長野県林務部>

森林保険公式キャラクター
たまお森林保険公式キャラクター
そりん

新春初市のご案内

◆原木 新春初市

《坂下事務所》1月15日(木) 入札開札13時 保証金10万円

◆製品 新春初市

第29回全市連国産材需要拡大製品特別展示大会

後援 林野庁・長野県・長野県木材協同組合連合会

《本部事務所》1月24日(土) 入札開札9時 保証金10万円

◆原木 新春初市

《荻原事務所》1月27日(火) 入札開札9時 保証金10万円

※入札参加資格・入札条件等詳細については下記へお問い合わせください。

国産材原木と木材製品の市場

環境・健康・心に「住んでよし 未来豊かな木の住まい」



ホームページアドレス <http://www.kisokan.com>

理 事 長 勝 野 智 明

本部事務所: 長野県木曽郡上松町正島町2-45

☎ 0264-52-2480 FAX 0264-52-2324

☎ 0264-52-2483(代) FAX 0264-52-4885

☎ 0264-24-0085(代) FAX 0264-24-0086

☎ 0573-75-3178(代) FAX 0573-75-3172

荻原事務所: 長野県木曽郡上松町荻原字中島1431-1
やぶ原土場: 長野県木曽郡木祖村薮原844-1
坂下事務所: 岐阜県中津川市坂下133-1



森林組合しか 知らない世界

森林組合の出資者であり、森林整備や経営の委託や木材を始め林産物の共同販売など森林組合事業の利用者である組合員。しかしながら、高齢化や相続に伴う世代間で異なる所有森林の認識から、そもそも所有する森林がどこにどれだけあるのか？そんな問い合わせが組合員から寄せられることが少なくありません。

今回、こうした状況を改善すべく松本広域森林組合が行った組合員向けイベントを取材してきました！



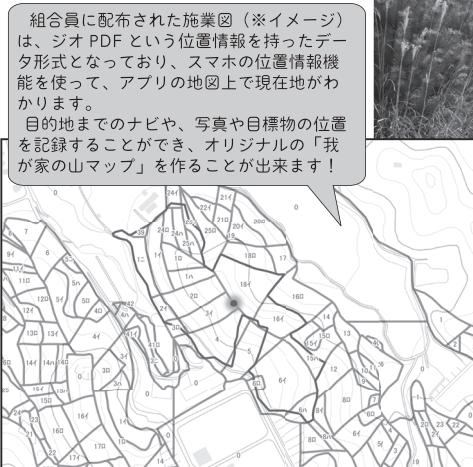
▲イベント告知チラシ
松本市三才山、塩尻市北小野に続き、今回が3回目

11月24日、松本市の四賀公民館にて松本広域森林組合主催の組合員限定イベント「私有林を見てみよう」が開催され、9名が参加しました。

これは、参加された組合員の所有林の施業図を作成して提供し、スマホ地図アプリ「Avenza Maps」の使い方を現地でレクチャーするほか、ドローン空撮での測量調査などスマート林業の取り組みを紹介し、組合員に所有する森林や林業に親しみを持っていただくイベントとなっています。

冒頭に、森林組合で行っている森林整備やドローンを使った松本市での松枯れ被害木調査について説明がありました。

地図アプリの基本的な使い方について説明したあと、第6回農中森力基金を活用して森林整備を行った藤池団地に移動し、現地でアプリを使いながら森林を探しました。



スマホ地図アプリは、財産区有林や共有林での山検地でも活用がはじまっているとか。きのこ狩りや山菜狩りにも使えるかも？という話題も上がった。

「どこにあるかな～？」と枝や切り株の陰などに隠されたアイテムを探す参加者。スマホ地図アプリを使った「宝探しゲーム」は、子ども会など親子が参加する地域のイベントでも活用でき、森林に足を運んでもらうキッカケに最適！



▲最後にドローン空撮で記念撮影！

森林組合って何？どんな仕事をしているの？組合員って？…etc.

そんな森林組合にまつわる、森林組合しか知らない世界を紹介するコーナーです♪

今回のテーマ： ～森林組合の 組合員向けイベント～



令和7年度木材センター記念市

11月11日から13日の3日間、長野県森林組合連合会の各木材センターにて当会の販売事業の一大イベントである「記念市」が開催されました。

森林組合をはじめ多くの出荷者様から優良材を多数ご出品いただき、関係者各位の皆様には厚く御礼申し上げます。

北信木材センターでは、カエデやクルミ等広葉樹の良質材に、札が集中し高値で取引され、ホオ3.0m（末口42cm）には160,000円/m³の値が付き、販売量は5,432m³となりました。中信木材センターでは、広葉樹を中心に多様な材が集まりました。特に高額となつたヒノキは6.4m末口(48cm)で91,000円/m³となり、販売量は6,091m³となりました。伊那木材センターでは、高値続出の大変賑やかな記念市となりました。クリ4.6m(末口42cm)で110,000円/m³となりました。

本年も業務課及び各木材センター一同、長野原産材の有利販売と安定供給に努めてまいりますので、益々の出材のご協力をお願いすると共に、高値での活発な入札のほどよろしくお願いします。

※裏表紙に記念市の様子を写真付きで紹介しています。



▲胸高直径を測る参加者



▲健全な組合経営には監事の目が不可欠

11月6日～7日に佐久市を会場に、会員の森林組合職員、市町村林務担当者など24名が参加し、令和7年度長野県林業職員協会県大会が開催されました。初日は、佐久市森林セラピードーム「春日の森」周辺の森林内で、林業技術競技会が開催され、7種目（樹高、胸高直径、単木材積、林分面積、林分材積、作業道距離、架線距離）で機器を用いて計測を行い、日頃の業務で培った森林を見る目を試しました。間伐直後でアカマツとカラマツが混合した林分であつたことと、作業道距離をして講演していただきました。

今回は講師に、JA全中をはじめ多くの協同組合監査に携わり、森林組合監査士養成講習会にも長年携われた中小企業診断士である「きこりの相談室」荒川 美作保氏を迎え、「監事監査の基本と監査に役立つ経営分析」と題して講演していただきました。

グループ討議の中では「理事会で話し合ってほしいこと」と「ここが気になりません！」コンプライアンス」というテーマで参加者の意見が集約され、担い手マで参加者の意見が集約され、担い手の課題や現金の取り扱い、労働安全など監事が当事者目線で組合運営を見ていくことが伺える意見が出ていました。

F OSS 4 Gとは、自由でオープンソースな地理情報ソフトウェア群の祭典として世界各地で開催されているもので、初日にコアディ（基調講演・一般発表・ポスターセッション）と2日目にハンズオンディ（講座・ワークショップ）が行われ、全国の研究者や学生、測量や調査に携わる企業関係者が約100名ほどが参加しました。

今回は林業でのF OSS 4 Gの活用が取り上げられ、長野県林務部が事例発表を行ったほか、木曽谷・伊那谷フレストバレー運営協議会・松本広域森林組合、長野県森連がポスターセッションに出展し、オープンデータを活用した森林資源量の把握方法についての講座の講師を県森連職員が務めました。

F OSS 4 Gが林業で積極的に運用されている状況に、参加者からは、「信州の林業はアツい！」といった評価もあり、他分野での活用やアイディアは大変刺激を受けるものでした。

※下記QRコードから当日の講演動画や資料が閲覧できます。



長野県林業職員協会県大会開催

令和7年度森林組合監事研修会

F OSS 4 G SHINSHU
2025に出展しました

11月29日～30日に「F OSS 4 G SHINSHU 2025」が信州大学農学部と in adan i sees を会場に開催されました。

11月29日～30日に「F OSS 4 G SHINSHU 2025」が信州大学農学部と in adan i sees を会場に開催されました。



もりる

2026年 長野県内木材市売日程



ねりる

	飯伊木材 共販所	木曽官材市売				長野県森連		
		本部事務所	荻原事務所	坂下事務所	国有林土場等 活用委託販売 市売日(原木)	伊那木材センター	中信木材センター	北信木材センター
		製品	原木	原木	原木	原木	原木	原木
1月	初市 16(金) 24(土)	初市 第29回全市連国産材需要 拡大製材品特別展示大会	初市 27(火)	初市 15(木)	初市 8(木)	初市 ひのき祭り 15(木)	初市 14(水)	初市 15(木)
2月	特選材市 19(木) 14(土)	17(火)	3(火) 19(木)	5(木)	4(水)	広葉樹祭り 3(火)	広葉樹祭り 4(水)	
3月	特選材市 19(木) 14(土)	17(火)	12(木)	5(木)	12(木)	11(水)	12(木)	
4月	花まつり 16(木) 18(土)	春季謝恩市 28(火)	2(木) 春季謝恩市 23(木)	21(火)	8(水)	7(火)	8(水)	
5月	特選材市 21(木) 23(土)	26(火)	19(火)	14(木)	上伊那・諏訪 地域材祭り 13(水)	松本平・安曇野 地域材祭り 12(火)	北信地域材祭り 13(水)	
6月	特選材市 18(木) 20(土)	23(火)	2(火) 18(木)	11(木)	10(水)	9(火)	10(水)	
7月	第59回木材まつり 16(木) 25(土)	28(火)	8(水) 中元謝恩市 29(水)	7(火)	8(水)	7(火)	8(水)	
8月	特選材市 21(金) 22(土)	25(火)	20(木)	4(火)	5(水)	4(火)	5(水)	
9月	特選材市 17(木) 19(土)	29(火)	3(木) 開設28周年記念市 24(木)	8(火)	9(水)	8(火)	9(水)	
10月	開設59周年記念市 荷主会結成38周年記念市 16(金) 17(土)	創立71周年記念市 第42回日本美林まつり 20(火)	8(木) 22(木)	6(火)	7(水)	6(火)	7(水)	
11月	特選材市 13(金) 14(土)	17(火)	5(木) 26(木)	4(水)	開設65周年記念市 10(火)	開設64周年記念市 11(水)	開設68周年記念市 12(木)	
12月	納市 18(金)	納市 12(土)	納市 15(火)	納市 16(水)	納市 3(木)	納市 9(水)	納市 8(火)	納市 9(水)

市売の最新情報については、各事業所にお問い合わせくださいか HPをご覧ください。

飯伊森林組合

〒 395-1101
下伊那郡喬木村 400-14
TEL:0265-33-3361



木曽官材市売協同組合

〒 399-5604
木曾郡上松町正島町 2-45
TEL:0264-52-2480



長野県森林組合連合会

〒 380-0936
長野市岡田町 30-16
長野県林業センタービル 3F
TEL:026-226-2504





平澤林産有限会社

立木買取り・生産販売・支障木処理
木材森林整備認定事業体
木材森林注文・産業廃棄物処分業

代表取締役 平澤照雄
TEL (0265) 76-15725
FAX (0265) 76-15728

株式会社 吉本

代表取締役社長 由井正宏
TEL (0265) 86-15545
FAX (0265) 86-15542

木曽官材市売協同組合

理事長 勝野智明
TEL (0264) 51-1480
FAX (0264) 51-13345

長野森林組合

代表理事 組合長 和田智
役職員一同

木曽南部森林組合

代表理事 組合長 坂家重吉
役職員一同

栄村森林組合

代表理事 組合長 久保田道一
役職員一同

北信州森林組合

代表理事 組合長 山崎明
役職員一同

有限会社 高遠興産

代表取締役 林敏行
TEL (0265) 96-1073
FAX (0265) 71-8308

日本森林技術協会

長野事務所 所長 油井章次郎
TEL (026) 22-712660
FAX (026) 22-712660

ハイグレード集成材 信州唐松丸

代表取締役社長 齋藤健
TEL (026) 22-35355
FAX (026) 22-35355

みどり産業株式会社

一般社団法人
代表取締役 篠原明
TEL (026) 22-41870
FAX (026) 22-317989

木曽森林組合

代表理事 組合長 原久仁男
役職員一同

宮澤木材産業株式会社

代表取締役 宮澤遙
森林環境部
TEL (026) 23-51058
FAX (026) 23-51058

日本林業土木(株)

出張所 所長木村敏宏
TEL (026) 22-271618
FAX (026) 22-271618

和合森林組合

代表理事 組合長 村澤博光
役職員一同

瑞穂木材株式会社

木材製材販売・住宅資材販売
下高井郡木島平村大字穂高三三八一
TEL (0269) 82-13118
FAX (0269) 82-14156

南木曽町森林組合

代表理事 組合長堀賢介
役職員一同

松本広域森林組合

代表理事 組合長吉田満男
役職員一同

信州の木認証合板で地産地消の緑の循環



針葉樹合板のパイオニア
林ベニヤ産業株式会社

(本社) 06-6228-1401
(七尾工場) 0767-52-4376
(舞鶴工場) 0773-68-0306
(北陸営業所) 0767-52-4376

謹賀新年



株式会社モリレン長野

損害保険代理店
緑化事業設計施行・墓石

長野市中御所岡田町三〇一一三六六
FAX(〇二六)二六七一六三一八二六六

大栄産業株式会社

松本市波田二九五一一三七
FAX(〇二六三)九二一五〇五九一
ホームページアドレス <http://www.daiisy.co.jp>

唐松・杉・桧各種素材丸太・製材品
組建物・看板・加工一般・施工一式
新型インサイジング
(角材及び円柱可能)
防腐加工処理(A.C.Q.その他)
※加圧処理は、長さ16.0mまでできます
ウッドレリーフ製作

グリーンマーク取得
松くい虫防除シートは
まつのはじみう
地球にやさしい
生分解性うね子ツク使用の
こなぎ用被覆パット
信濃化学工業株式会社

〒381-0045
長野県長野市桐原1-2-12
TEL 026-243-1115
FAX 026-243-1520

長野県獵友会

一般社団法人
会長 竹入正一

株式会社王滝林業有限会社

素材生産請負・森林整備
立木買付・生産販売

本曾郡王滝村四五六三一
FAX(〇二六四)四八一三六三
取締役社長 西路明

東信素材生産事業 協同組合

代表理事 堀内利夫
組合員一同
小諸市大字平原字四ツ谷原九九五
二二二一五〇四〇三二五
FAX(〇二六七)二二二一五〇四〇三二五

オガサワラ林業有限公司

代表取締役 小笠原稔
松本市村井町南三丁目一〇番一四号
FAX(〇二六三)五八一五九三八八一

株式会社酒井工業所

SANDYキーパーマット
カゴ枠・大型カゴ枠・パネルフトン籠
森林整備・素材生産・(産廃)収集運搬業
支障木伐採・処理・薪販売

〒136-0082
東京都江東区新木場一-17-22
TEL (03)5534-3741
<http://www.key-tec.co.jp>

株式会社キー・テック

代表取締役社長 中西宏一

林業用薬剤と
グリーンメンテナンス
松くい虫防除・芝地総合管理
非農耕地・雑草防除
長野県森連指定業者
長野県林業薬剤防除協会員

株式会社アクロ信州
本社 0268-23-2135 FAX 0268-23-2153
中信営業所 0263-77-8863 FAX 0263-77-8893

カラ松日本一を目指します



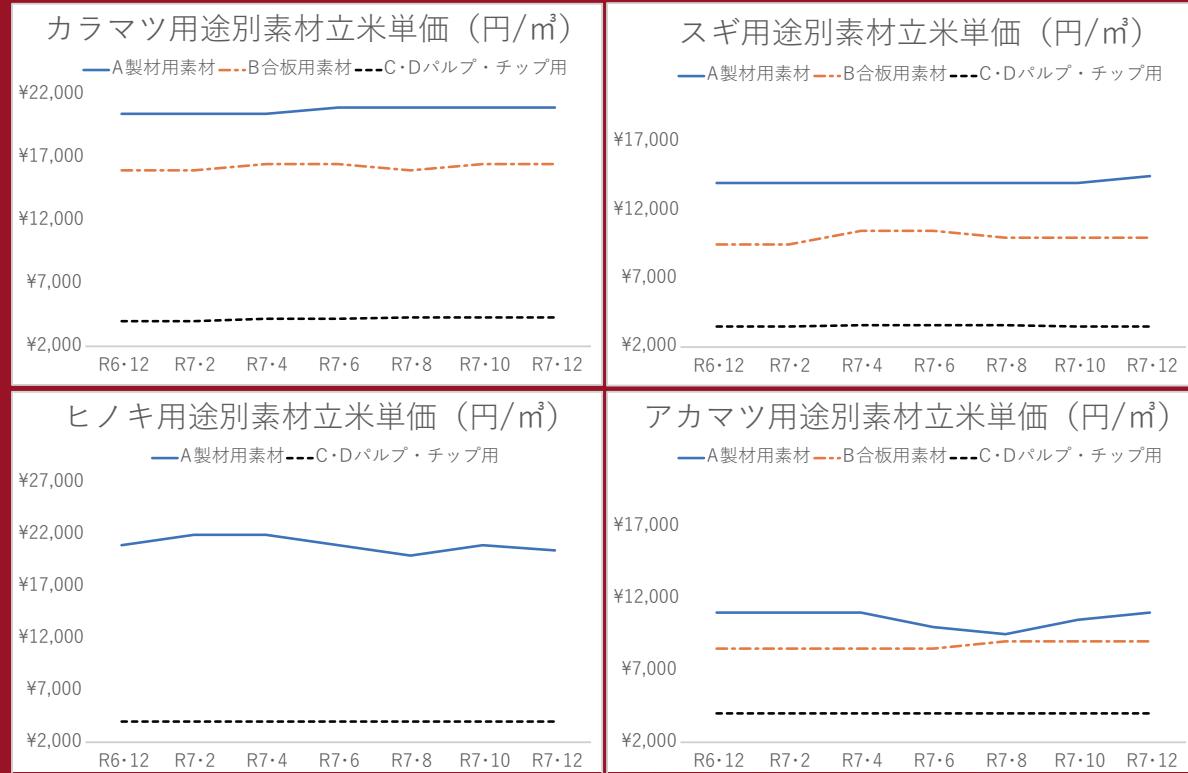
東信木材センター協同組合連合会

小諸市甲字鞍掛4747 電話 0267-23-0887
FAX 0267-22-1293





長野県の木材市況



▲ヒノキ 4.0m 末口 36～46cm (伊那木材センター)



▲ホオ 5.0m 末口 46 cm (北信木材センター)

令和七年度記念市



▲ケヤキ 3.8m 末口 76 cm (中信木材センター)

多くの優良材のご出品、並びに高値でのお買い上げをいただき、誠にありがとうございました。



県森連HPでは市売情報を写真付きで随時更新しております！

最新の市況表もご覧いただけますので、納材や入札の検討にご活用ください！

「長野の林業」のバックナンバーもこちらから♪

長野県森連